

こんにちは
4月号

酒井まさえ



2024年4月10日 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111 (2320) 区議会 3312-2610 **です**
sakaimasae.0507@gmail.com 090-9325-5676

杉並区議会 第1回定例会 岸本区長の新年度予算、賛成多数で可決

■表1.「令和6年度 杉並区一般会計予算」に対する各会派の賛否

会派・人数	自無	共産	立憲	公明	無都	維無	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無
人数	10	6	6	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
賛否	×6 退4	○	○	○	×	○3 議長1	○	○1 ×1	○	×	×	×	○	×	○	×

・【賛否】○／賛成、×／反対、退／退席。「自無」は10名のうち4名が退席した。「れ耕」は賛成1人、反対1人と賛否が分かれた。「無維」は1名が議長の為、賛否は3名のみ表明。



同時に、物価高騰対策の充実、家賃助成の早期実施、国保料の負担軽減に向けた取組など、積極的提案を行いました。
予算には、日本共産党のほか、立憲民主党、公明党など27人が賛成。自民・無所属は10人のうち4人が退席し6人が反対。無所属・都民ファーストなどと合わせ16人が反対しました。(表)

日本共産党区議団は、岸本区長の予算案について、震災対策の拡充や給食費無償化の継続と対象拡大、学校トイレの洋式化推進、高齢者の補聴器購入費助成の予算の倍化など、区民の命とくらしを守るための予算が多数盛り込まれたことを評価し賛成しました。

賛成27名、反対16名、退席4名
2月9日から開かれていた杉並区議会・第1回定例会が3月18日に閉会しました。定例会最終日には今定例会に提案されていた議案の賛否が問われ、岸本区長の2度目の予算編成となる令和6年度杉並区一般会計予算は、賛成多数で可決されました。

事実婚適用を求める陳情が採択

核禁条約参加を求める陳情は不採択

本会議では、議案だけでなく区民から議会に提出された「陳情・請願」についても採決が行われます。区民生活委員会で「採択すべきもの」とされた2つの陳情についても全員出席のもとで採決が行われました。

昨年4月から始まった「杉並区パートナーシップ制度」に、異性間の事実婚を適用することを求める陳情については共産党、立憲民主党公明党などの賛成多数で「採択」が決定。反対したのは無所属・都民ファースト、参政党など。自民党は会派10名が退席しました。

日本政府に対して核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提出することを要請する陳情については、自民党、公明党、無所属・都民ファーストなどの反対多数で「不採択」となりました。

国保料大幅値上げ 国と東京都は財政責任を果せ 予算特別委員会

来年度の国民健康保険料を値上げする議案が提案され、予算特別委員会で党区議団は質問しました。

1人当たり1万3000余の値上げ 過去最高の値上げ額

提案された保険料案は、ひとりあたり年間1万 3,848 円値上げするもので、年間の保険料額は **19万 6,019 円**となります。

年収400万円の40代夫婦と子ども2人世帯の場合、年額保険料は61万4,000円余。年収の15%をしめることとなります。

区は、今回の値上げ額は過去最高と答えました。

改定の概要

	2023年度	2024年度	増額
1人当たり 保険料	182,171円	196,019円	13,848円
均等割額	76,300円	82,100円	5,800円



国、東京都を動かす取り組みを

値上げの要因は、国保加入者の減少や医療の高度化、高齢化等に等に伴い、1人あたりの療養給付費が増加したことに加え、東京都の納付金算定方法の変更、国の激変緩和措置の終了によるものです。

東京都は、“財政責任の責任主体として中心的な役割を担う”とされながら、値上げ抑制のための財政投入を行わないだけでなく、国保運営方針の改定で、区市町村が行っている法定外繰入を年度目標まで示して、廃止を迫ることは許せません。

日本共産党区議団は、区長会および杉並区が、負担軽減のために一定の努力を行ったことは評価するが、物価高騰のもと、過去最大の大幅値上げを被保険者に強いることは容認できないとして値上げ案に反対しました。

さらに、国や都を動かすための取組のあり方を再検討すべきと求めました。

第1回定例会 予算特別委員会

地域公共交通 移動の自由を確保!

3月14日の予算特別委員会において、地域公共交通について質問しました。

「和泉地域にバスを通してほしい!」地域の声を紹介

杉並区は、昨年3月「杉並区地域公共交通計画」を策定しました。役割を「区民一人ひとりの移動を生涯にわたって支え、移動の自由を確保する」としています。

和泉地域にお住いの方から「外出に不便がある」との声が多く上がっていることから、地域の方がアンケート調査を行いました。「どうゆう時に困るか」との質問に対し、主な回答は「買い物」「病院に行く時」でした。

多かった意見は「代田橋、方南町、永福町駅などに徒歩以外で行けるようにしたい」「コミュニティバスを仲通りに通してほしい」「永福町と和泉を乗り物でつないでほしい」でした。

杉並区は、鉄道駅から800メートル、バス停から200メートル以外の地域を交通不便地域としていますが、昨年の我が党区議団の質問に対する答弁で



3月12日 予算特別委員会にて

党区議団の質問に対する答弁で「交通不便地域については、道路の勾配などを考慮し、総合的に判断する」との認識を示しています。

こうしたことから、私は、和泉2・4丁目には坂が多く、交通不便地域ととらえることができるのではないかと、質問。区は「和泉地域は不便地域としていない」と答弁しました。

さらに、私は、アンケートに寄せられた声を受け止め、対応することを求めました。

区は、「来年度、新たなモビリティ(移動)サービスの話し合いをすすめ、実証実験を行う」と答弁し、和泉地域の交通不便解消に向けて取り組んでいきます。

「すぎ丸」でも

シルバーパスを



アンケートには、すぎ丸について「シルバーパスが使えるようにしてほしい」「障害者手帳も使えるように」との声も寄せられました。

シルバーパスは、高齢者の外出支援にとって重要な役割を果たしており、練馬区や調布市などでは、コミュニティバスでもシルバーパスが使えるようになっていきます。杉並区でも実施を求めました。

区は「今後検討していく」と答弁しました。

今後も、区民の移動の自由を確保するために力を尽くします。

成田東の沼崎さんち このは食堂 (成田東4-53-19)

成田東の閑静な住宅街にある沼崎さんちの食堂。子どもから高齢者、どなたでもOK。親しみやすい名前にと「このは食堂」

お食事をしながら話が弾みます。1人暮らしのHさん「毎回来てますよ」と。

毎月 第2・4火曜日 1食 600円

11時30分～14時まで

連絡先 3312-7312(沼崎)



健康の話 春は変化の季節

4月は新しい生活や環境など、変化の多い時期です。気候も、寒暖差や、低気圧と高気圧が頻繁に入れ替わる気圧変動が大きい季節で、自律神経のバランスを崩しやすくなります。

自律神経には、身体を活発にする交感神経と、リラックスさせる副交感神経があり、2つがバランスをとりながら、心臓や腸、胃、血管などの臓器を司っています。自分の意志ではコントロールできず、ストレスなどで、バランスを崩してしまったりもします。

天気や季節の変化から体調を崩さないようにするには、自律神経を整えることが大事です。

そのためには、1日3食をとる事。特に朝食は、寝ている間に下がってしまった体温を上げ、自律神経を整えるのに大きな役割を果たします。

日常的に運動をすることが大切です。ウォーキングや軽いランニング、水泳など。泳がなくても歩くだけでも効果があります。

ストレスの解消も大事です。友人に電話をしたり、好きなものを食べたりしましょう。

疲れたと思ったら日は、普段よりも早く寝るようにしましょう。

お困りのことがありましたら
酒井にご連絡ください。

